

# 授業公開シート

授業者 書き込み欄	
授業者	飯村 浩晃
公開日	2018年 10月 26日 金曜日 5限
授業場所	美術教室
教科・学年	美術科 ・ 第3学年
授業内容の簡単な説明	タイトル：アイデア審査会 第5時 / 16時間
<p>卒業制作の制作内容を自分たちで考え、美術館および商店街アーケード内に展示する。</p> <p>事前学習として、現代アートの知識理解、美術館での現地視察、美術館の建物の意匠を学び、自分たちでルール作りをした。また、それらの内容を加味し、制作内容のアイデアを個人で出し合った。</p> <p>本時は、そのアイデアが本当に実現可能なのか、また、どうしたら実現可能になるのかを、審査員という立場に立って添削し、より良いアイデアをプレゼンテーションする授業である。</p>	
ねらい	※どのような見方・考え方を働かせて、資質・能力を高めたいと考えていますか？
<p>第三者の立場に立って、アイデアを実現可能であるかを添削・補完することを通して、公共の場における卒業制作展示の意義や公共性を客観的に捉えることができる。</p>	
中心となる課題や問い	・会場を貸す側の立場で「厳しく・温かく」他者のアイデアをチェック&修正しよう。
<b>生徒の学習活動</b>	
形態	一斉
導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時までのふりかえり。</li> <li>・本時の流れを確認する。</li> </ul>
展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美術館および商店街(会場を貸す側)の立場になって、他者が出したアイデアをチェックする。</li> <li>・4名1組で、それぞれの班が自分の出したアイデアと全く違う4つのアイデアを、4名で1アイデアずつ添削する。</li> </ul> <p style="text-align: center;">※1班1台、iPadを使い、調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会場としての立場(安全面、原状復帰等)と、製作者としての立場(制作意欲、アイデア、楽しさ等)どちらの意見も汲みたいが、出来ないこともある。可能な限り、実現させてあげられるように、試行錯誤し、アイデアを出す。</li> </ul> <p>→条件と照らし合わせ、具体的に展示が可能なアイデアなのかを確認する。</p> <p>→また、不足しているアイデアには、情報を調べて補い、アドバイスする。</p>
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・班が添削した4つのアイデアの中で、展示可能で一番魅力的だったアイデアを、クラスに紹介(プレゼンテーション)する。</li> </ul>
評価の仕方	ワークシートおよび発表内容

メモ欄

参観者 書き込み欄

参観者

ねらい

※ねらいにせまれていましたか？

折  
り  
線

学びの視点（主体的・対話的・深い学び）

※学びについてはどうでしたか？

授業スキル

良かったところ

改善した方が良いと感じたところ

感想